

手話認識による逆引き検索が可能なクラウド型手話辞典の開発

— 手話の逆引き検索の自立を実現 —

高橋 亮太(慶應義塾大学大学院)

約3700語彙の手話単語が登録された、日本手話の大規模な逆引き検索システムを開発しました。本システムは「手話学習者が手話動作から日本語の意味を自身で調べられない」という問題を手話認識技術を用いることで解決しただけでなく、「直感的」・「網羅的」・「連鎖的」な3種類の逆引き検索機能の実装により手話学習者に新たな学習体験を提供します。

動画による逆引き検索

撮影した動画から手話を検索

「直感的」な検索機能

手型による絞り込み

左右の手型をもとに絞り込み

「網羅的」な検索機能

類似手話検索

似ている手話を複数表示

「連鎖的」な検索機能

※本プロジェクトでは国立情報学研究所のIDRデータセット提供サービスにより工学院大学から提供を受けた「工学院大学 多用途型日本手話言語データベース(KoSign)」を利用しました。